

ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

<5739> <5740>

(為替ヘッジあり) 追加型投信／内外／株式
(為替ヘッジなし) 追加型投信／内外／株式

満期償還 2022年 9月16日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける企業の株式の値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

(為替ヘッジあり)

償還時	基準価額	12,170円43銭
	純資産総額	263百万円
償還期	騰落率	△15.4%

(為替ヘッジなし)

償還時	基準価額	19,325円04銭
	純資産総額	73百万円
償還期	騰落率	△3.1%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇SKU0573920220916◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

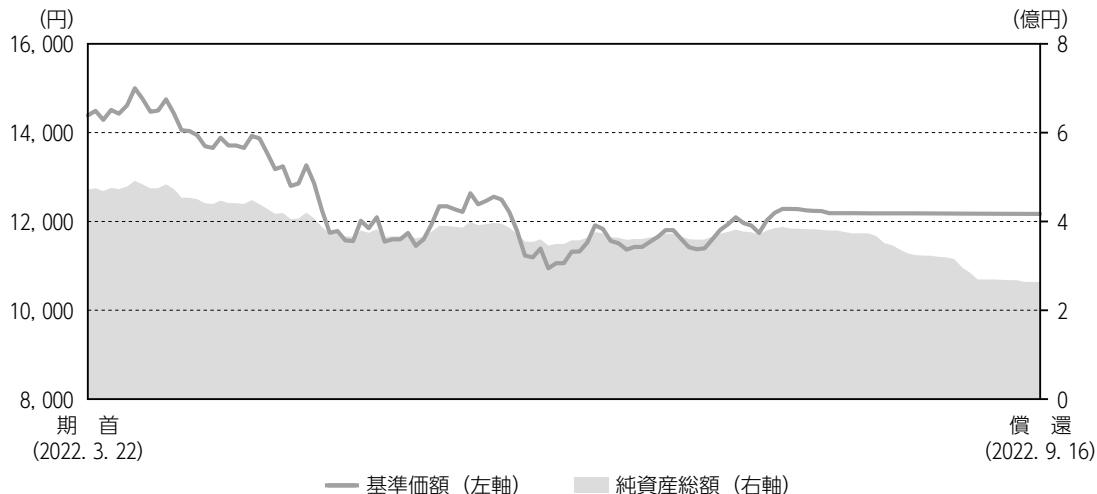
上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択

為替ヘッジあり



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：14,389円

償還時：12,170円43銭

騰落率：△15.4%

■基準価額の主な変動要因

保有株式が下落したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 3. 23～2022. 9. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	78円	0. 633%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12, 399円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0. 188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(53)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	78	0. 633	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

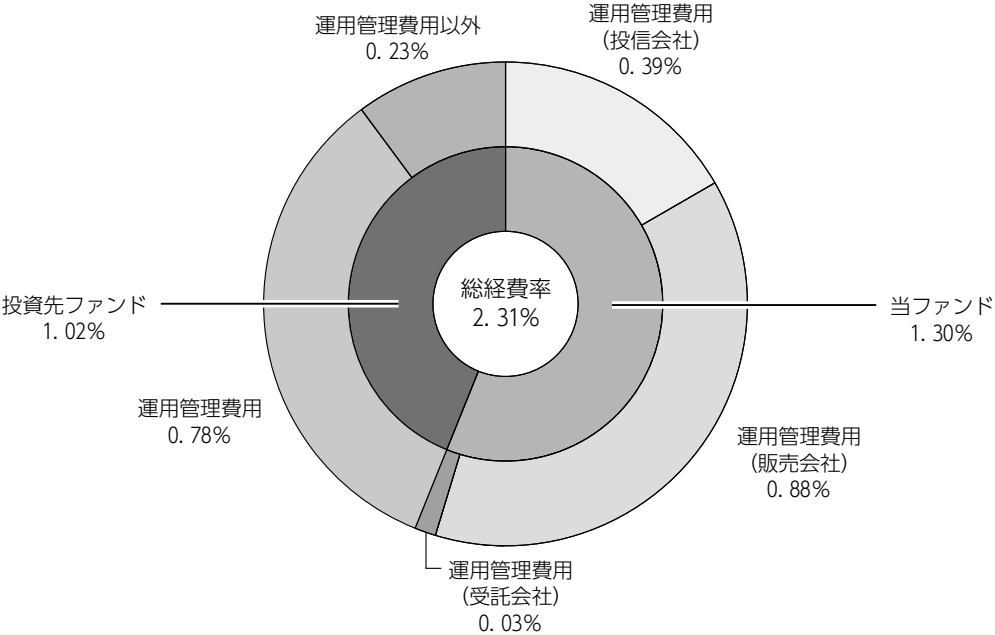
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.31%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.31%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

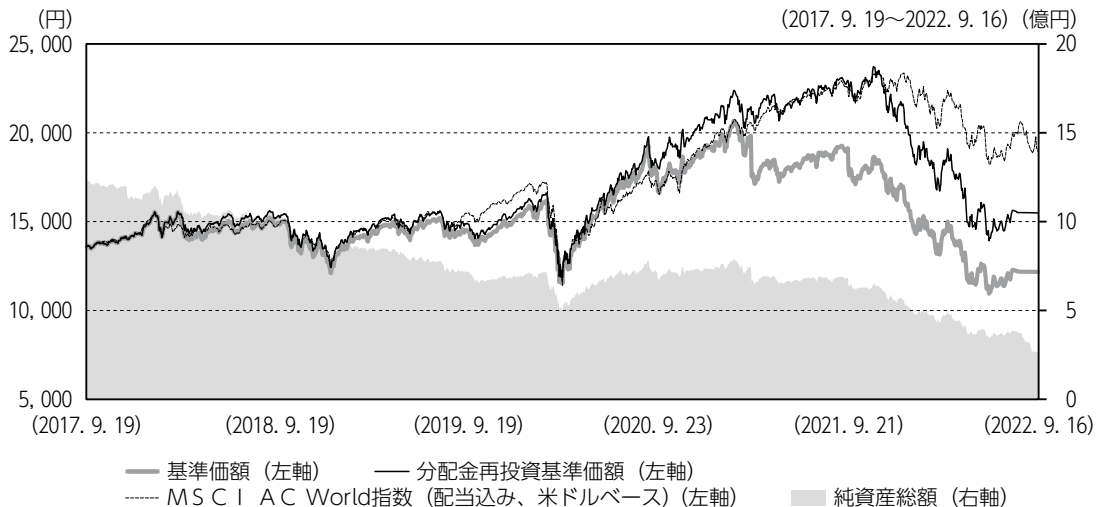
（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2017年9月19日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 参考指数はMSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2017年9月19日 期初	2018年9月19日 決算日	2019年9月19日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月16日 償還時
基準価額 (円)	13,602	14,831	14,473	16,699	17,904	12,170.43
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	400	0	900	3,000	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	11.9	△2.4	21.6	26.1	△32.0
MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	9.6	3.8	8.9	30.7	△14.1
純資産総額 (百万円)	1,234	1,029	717	674	641	263

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）騰落率は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について

（2012. 9. 20 ～ 2022. 9. 16）

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

当ファンド設定時から2018年 1 月にかけての世界株式市況は、世界経済の回復や良好な金利環境が支援材料となり、上昇基調で推移しました。2019年末にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱や米中間の貿易摩擦など、世界景気に対する不確実性が高まったことで下落する場面も見られましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融緩和姿勢への転換観測などから底堅く推移しました。2021年末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大を受けて一時急落しましたが、各国で積極的な金融緩和政策や景気刺激策が打ち出されたこと、また新型コロナウイルスのワクチンの開発・接種が進展したことにより経済活動が正常化に向かうに連れて上昇しました。その後は、米国の金融政策への懸念や、ロシアのウクライナ侵攻を受けて原油価格が上昇し、世界的なインフレ懸念が高まったことなどから、不安定な値動きとなりました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

エクイティファンドAとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、エクイティファンドAへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※エクイティファンドA：ダイワ・プレミアム・トラストミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド Aクラス

■エクイティファンドA

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資してまいります。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを維持する予定です。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れてまいります。

また、円買い／外貨売りのヘッジポジションを高位に維持してまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

信託期間中のポートフォリオについて

（2012. 9. 20 ～ 2022. 9. 16）

■当ファンド

当ファンドは、エクイティファンドAとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティファンドAへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■エクイティファンドA

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資を行いました。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを構築しました。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れました。

また、円買い／外貨売りのヘッジポジションを高位に維持しました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

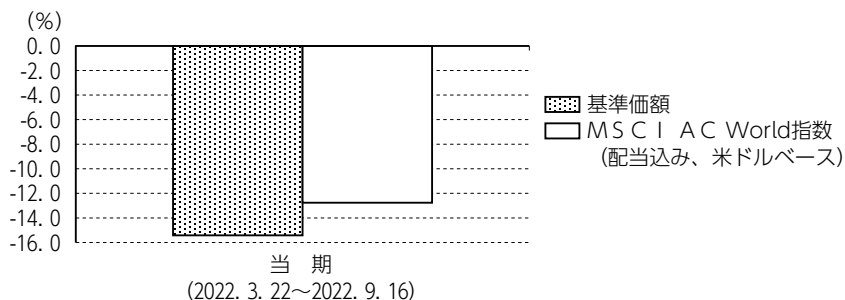
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当たり、第1期200円、第2期300円、第3期200円、第4期30円、第5期200円、第8期100円、第9期～第10期各150円、第11期400円、第16期900円、第17期1,900円、第18期1,100円の収益分配を行いました。なお、第6期～第7期、第12期～第15期、第19期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



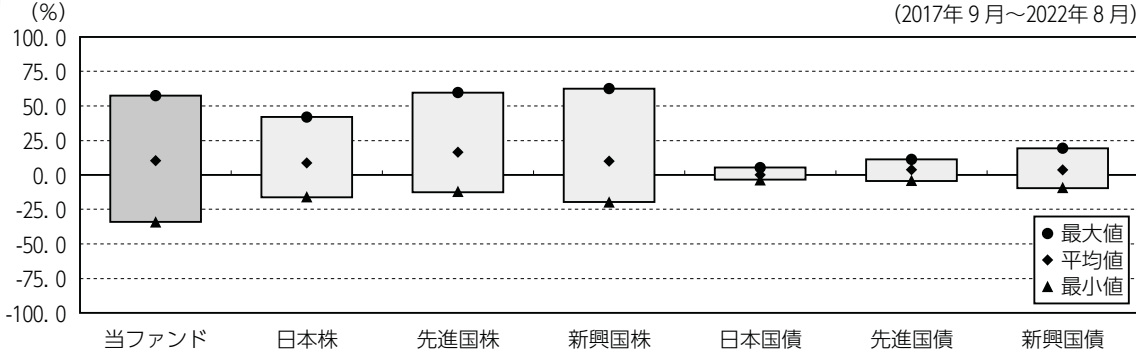
当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2012年9月20日～2022年9月16日	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド Aクラス」（以下「エクイティファンド A」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、エクイティファンドAの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、エクイティファンドAとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エクイティファンドAへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エクイティファンドAでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替ヘッジを行なわない場合があります。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2017年9月～2022年8月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	57.6	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
平均値	9.5	8.3	16.2	9.9	0.1	3.5	2.5
最小値	△ 34.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

- 日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債……………NOMURA-BPI国債
- 先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償還時
	2022年9月16日
純資産総額	263,968,049円
受益権総口数	216,892,915口
1万口当り基準価額	12,170円43銭

* 当期中における追加設定元本額は14,038円、同解約元本額は110,849,231円です。

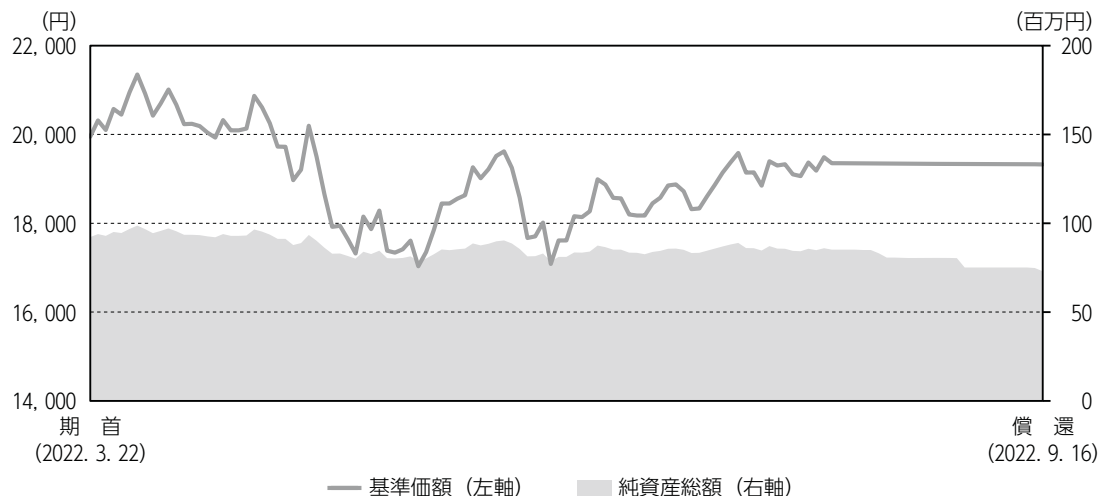
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

為替ヘッジなし



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期 首：19,948円

償還時：19,325円04銭

騰落率：△3.1%

■ 基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりましたが、保有株式が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 3. 23～2022. 9. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	121円	0. 633%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は19, 102円です。
(投 信 会 社)	(36)	(0. 188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(82)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	121	0. 633	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

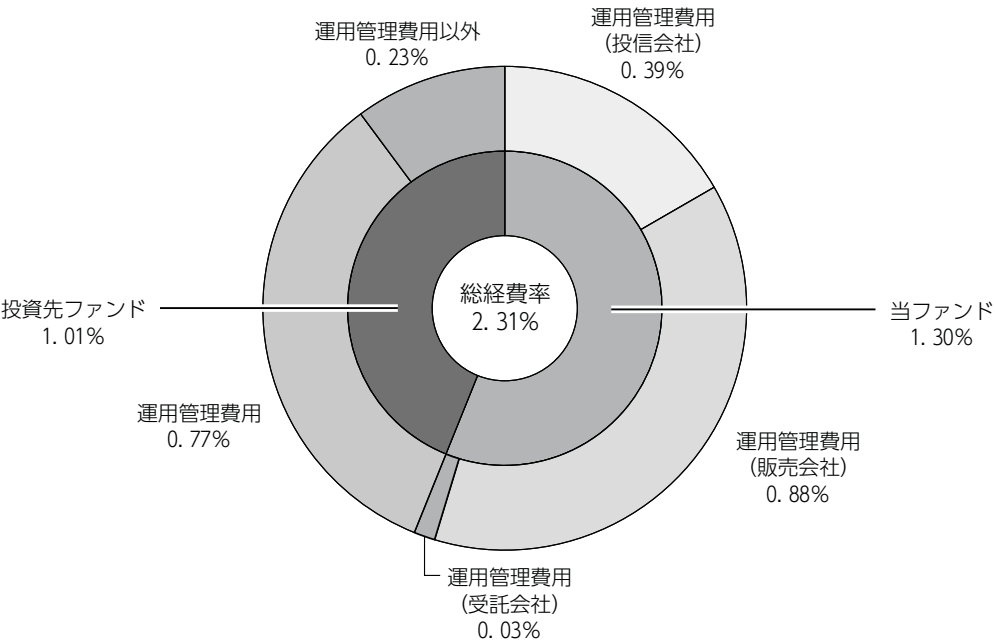
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

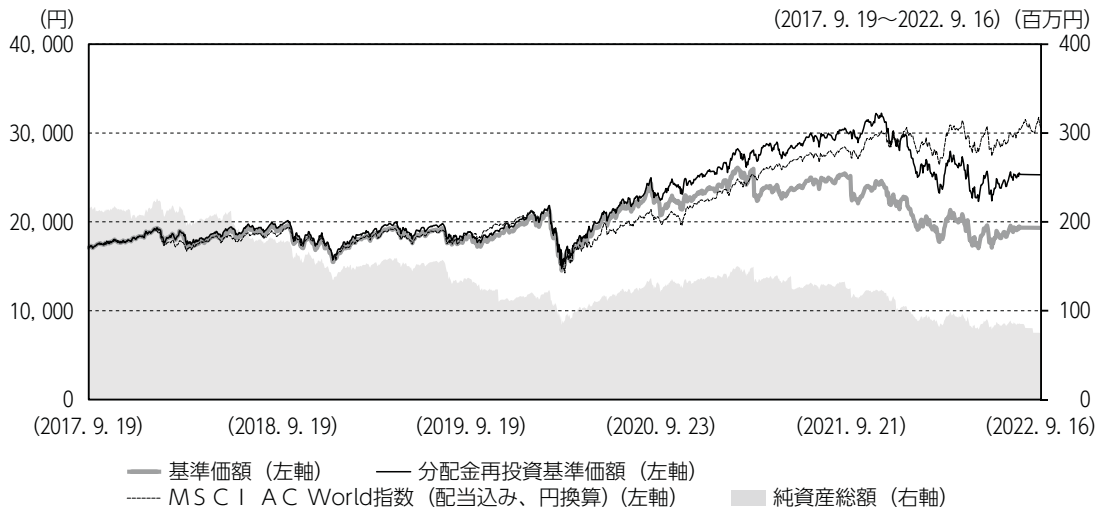
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.31%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.31%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.77%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注4）各比率は、年率換算した値です。
（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2017年9月19日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 参考指数はMSCI AC World 指数（配当込み、円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2017年9月19日 期初	2018年9月19日 決算日	2019年9月19日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月16日 償還時
基準価額 (円)	17,100	19,111	18,323	20,738	22,962	19,325.04
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	500	0	1,100	4,600	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.8	△4.1	19.2	34.0	△15.8
MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	10.4	0.3	5.6	36.2	12.1
純資産総額 (百万円)	214	177	135	121	114	73

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基になっているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について

（2012. 9. 20 ～ 2022. 9. 16）

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

当ファンド設定時から2018年 1 月にかけての世界株式市況は、世界経済の回復や良好な金利環境が支援材料となり、上昇基調で推移しました。2019年末にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱や米中間の貿易摩擦など、世界景気に対する不確実性が高まったことで下落する場面も見られましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融緩和姿勢への転換観測などから底堅く推移しました。2021年末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大を受けて一時急落しましたが、各国で積極的な金融緩和政策や景気刺激策が打ち出されたこと、また新型コロナウイルスのワクチンの開発・接種が進展したことにより経済活動が正常化に向かうに連れて上昇しました。その後は、米国の金融政策への懸念や、ロシアのウクライナ侵攻を受けて原油価格が上昇し、世界的なインフレ懸念が高まったことなどから、不安定な値動きとなりました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

当ファンド設定時から2015年半ばにかけて、日銀の量的・質的金融緩和政策の拡大などが材料視され、円安米ドル高が進行しました。2015年半ばから2019年末にかけては、日銀によるマイナス金利の導入発表に加えて、英国のEU（欧州連合）離脱や米中貿易摩擦を背景にリスク回避の動きが強まったことから、米ドルは対円で下落（円高）しました。2019年末以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大からリスク回避の動きが強まるなど、一時的に円買いの動きから円高米ドル安基調で推移する場面も見られました。しかし米国では、金融政策正常化が意識されたことから米国金利が上昇した一方で、日銀は断続的に金利上昇を抑制する姿勢を示したことから、日米の金融政策の相違が意識され、円安米ドル高が進行しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

エクイティファンドBとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、エクイティファンドBへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※エクイティファンドB：ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド Bクラス

■エクイティファンドB

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資してまいります。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを維持する予定です。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

信託期間中のポートフォリオについて

(2012. 9. 20 ～ 2022. 9. 16)

■当ファンド

当ファンドは、エクイティファンドBとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティファンドBへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■エクイティファンドB

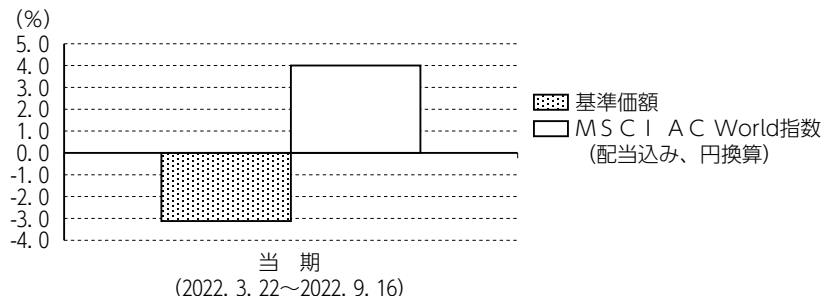
新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資を行いました。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを構築しました。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。
参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当たり、第1期700円、第2期500円、第3期350円、第4期120円、第5期600円、第9期600円、第10期100円、第11期350円、第12期150円、第16期1,100円、第17期2,500円、第18期2,100円の収益分配を行いました。なお、第6期～第8期、第13期～第15期、第19期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



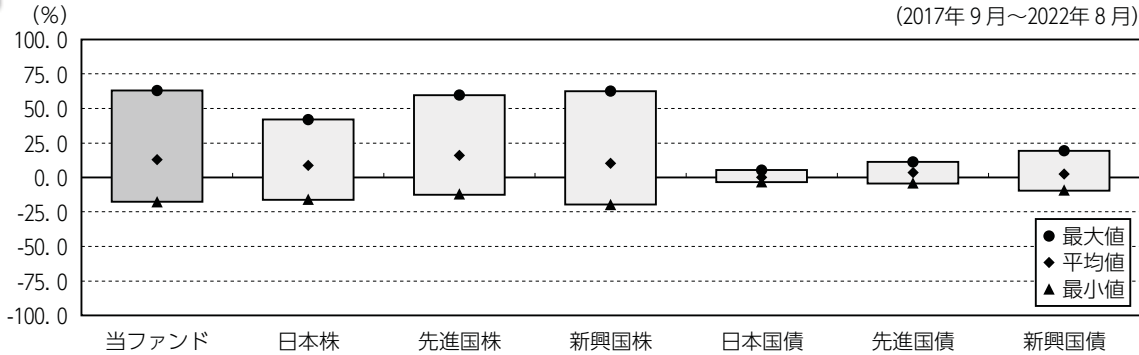
当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2012年 9 月20日～2022年 9 月16日	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド Bクラス」（以下「エクイティファンド B」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、エクイティファンド B の受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、エクイティファンド B とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エクイティファンド B への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エクイティファンド B では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が 1 年未満、取得時において A－2 格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2017年9月～2022年8月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	63.1	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
平均値	12.8	8.3	16.2	9.9	0.1	3.5	2.5
最小値	△ 17.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

- 日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債……………NOMURA-BPI国債
- 先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償還時
	2022年9月16日
純資産総額	73,031,986円
受益権総口数	37,791,367口
1万口当り基準価額	19,325円04銭

* 当期中における追加設定元本額は63,163円、同解約元本額は8,487,565円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。